



マイナンバー
対策に



対応環境 Windows 11 / 10 BIOS/UEFI

※「パソコン完全抹消」では、Windows PE 起動用ディスクからの起動時、Windows 8.1 / 7 動作確認済み

多彩な抹消で情報漏えい対策に

強力抹消

パソコン完全抹消

ディスクや
ドライブを
丸ごと抹消

ファイル抹消

ファイルや
フォルダーを
選んで抹消



ハードディスク完全消去ソフト

HD革命® Eraser Ver.8

HD革命/イレーサー

HD革命/Eraser Ver.8 ラインナップ

パソコン完全抹消

通常版
本体価格 4,500円 + 消費税
4 589530 593702

パソコン完全抹消 & ファイル抹消

通常版
本体価格 5,800円 + 消費税
4 589530 593733

パソコン完全抹消

アカデミック版
本体価格 3,600円 + 消費税
4 589530 593719

パソコン完全抹消 & ファイル抹消

アカデミック版
本体価格 4,700円 + 消費税
4 589530 593740

※【ファイル抹消】単体製品は、ダウンロード版でご用意しております。

動作環境(システム要件)

【インストールして使用する場合】

- オペレーティングシステム(いずれも日本語版)
 - ・Windows 11 (バージョン22H2) 64bit版
 - ・Windows 10 (バージョン22H2) 32bit/64bit版
 - ※ Arm版 Windows 11/10 には対応していません。
 - ※ アドミニストレータ権限(管理者権限)が必要です。
 - ※ マイクロソフト社がサポートを終了したオペレーティングシステムは、本製品のサポート対象外となります。Windows 8.1/7 においてはサポート対象外のオペレーティングシステムとなりますが【パソコン完全抹消】では、本製品をインストール後に起動用ディスクを作成して起動できる環境であれば使用できることを確認しています。

2023年2月1日現在の対応OSとなります。
Windowsの大型アップデートについての最新情報はWebサイトでご確認ください。

- コンピュータ
 - ・上記のオペレーティングシステムが稼働するコンピュータ(PC/AT互換機のみ)
 - ※ Macintosh(Mac)には対応していません。
- メモリー
 - ・Windows 11/10 64bit版 : 4GB以上 (8GB以上を推奨)
 - ・Windows 10 32bit版 : 2GB以上
- ドライブ
 - ・CDを読み込めるドライブ
- ハードディスク/SSD
 - ・インストール用として【パソコン完全抹消】150MB以上、【ファイル抹消】50MB以上の空き容量
- その他
 - ・インターネット接続環境
 - ※ アップデータのダウンロードやユーザー登録、起動用ディスクの作成(【パソコン完全抹消】のみ)が必要となります。

【起動用ディスクから起動して使用する場合】

【パソコン完全抹消】は、CD/DVD/BDやUSBメモリーに対してディスクを抹消するための起動用ディスクを作成する機能があります。【ファイル抹消】の各機能は使用できません。

- オペレーティングシステム
 - ・Windows PE を起動するため、コンピューターにインストールされているOSに依存しません。
- コンピュータ
 - ・インストールして使用する場合と同様
 - ※ 作成した起動用ディスクから起動できる環境が必要です。コンピューターによっては設定の変更が必要となる場合があります。
- メモリー
 - ・512MB以上(ビデオメモリーと兼用の場合は1GB以上)
- ドライブ
 - ・CD/DVD/BDを起動用ディスクとする場合、それぞれのメディアに対応したドライブ
 - ※ USBメモリーを起動用ディスクとする場合は不要です。
- USBポート
 - ・USBメモリーを起動用ディスクとする場合、USBメモリーから起動可能なUSBポート(USB2.0以上)
- その他
 - ・起動用ディスクで起動後にハードディスク/SSDが認識されていない場合は、認識するためのドライバが必要です。

起動用ディスクについて

【パソコン完全抹消】の起動用ディスクは「Windows PE」を使用するため、本製品では「Windows PE 起動用ディスク」といいます。

- 「Windows PE 起動用ディスク」を作成するにはインターネット接続環境が必要です。
- CD/DVD/BDメディアに作成する場合は、それぞれのメディアの書き込み用ドライブと空のメディアが必要です。
- USBメモリーに作成する場合は、空の1GB以上32GB以下のUSBメモリーが必要です。

主な機能一覧 おすすめ機能

	インストール	起動用ディスク
パソコン完全抹消		
起動中のWindowsごとHDD/SSDを丸ごと抹消 ※2	○	—
内蔵HDD/SSDを選んで抹消 ※2	○	○
↳ SSDのセキュア抹消機能(NVMe) NEW	△※3	○
↳ SSDのセキュア抹消機能(SATA)	×	×
外付けHDD/SSDを選んで抹消 ※2	○	○
↳ SSDのセキュア抹消機能(NVMe)	×	×
↳ SSDのセキュア抹消機能(SATA)	○	○
ドライブ(パーティション)を選んで抹消 ※2	○	○
USBメモリーやSDカードなどのリムーバブルディスクの抹消	○	○
MBR領域の抹消	○	○
複数台のデバイスやドライブの同時抹消 ※4	○	○
抹消時間の測定 ※5 NEW	○	○
抹消後の自動シャットダウン	○	○
抹消後のフォーマット機能 ※6	○	○
Windows 8.1/7 動作確認済み	△※7	○
ファイル抹消		
ツリー表示で選んで抹消	○	—
ファイルの検索機能 NEW	○	—
ごみ箱の中のファイルを抹消 NEW	○	—
右クリック/ドラック&ドロップ抹消(ARKシュレッダー)	○	—
Windowsやインターネットの履歴抹消	○	—
ユーザーアカウント抹消	○	—
ページファイルの抹消	○	—
スケジュール機能	○	—
パソコン完全抹消 / ファイル抹消 共通機能		
11段階の選べる抹消方式 UP	○	▲※10
空き領域の抹消 ※8	○	×
↳ スラック領域抹消	○	×
抹消レポートの表示/保存(.txt/.pdf) ※9	○	▲※10
パスワードによる操作制限(誤操作防止)	○	×

※1 抹消するパソコンにインストールして作成する必要があります。※2 SSDはデバイスの特性により、抹消を行っても領域(ブロック)には断片的なデータが残る可能性があります。ただしデータ復元ソフトウェアで復元が不可能な状態で抹消は可能です。よりセキュアな抹消やSSDへの負荷をかけたくない場合は「SSDの抹消」をご利用ください。※3 暗号化抹消のみ対応。※4 一度に抹消できるのは、デバイス単位では最大10台、ドライブ単位では最大49個までとなります。※5 Secure EraseはFormat NVMeを抹消する場合、抹消時間の測定はできません。またドライブ文字がついていないドライブや空き領域がないドライブ、「未割り当て」領域に対して抹消時間の測定はできません。※6 起動中のWindowsごとHDD/SSDを丸ごと抹消を行う場合や、「ディスクの管理」に表示されないドライブ、ドライブ文字がついていないドライブ、「未割り当て」領域には対応していません。※7 起動用ディスク作成のためのインストールのみ動作確認済み。各OSの最新アップデートの適用が必要です。※8 SSDの空き領域をTrimで抹消する場合、NTFS以外のファイルシステムには対応していません。※9 抹消レポートを.txtまたは.pdfで保存する場合は、抹消を行うディスク(パーティション)に保存できるもので、ファイルを保存するディスクやUSBメモリーが別途必要です。※10 パソコン完全抹消のみ対応。

対応環境

IDE	IEEE1394	SCSI I/II/III	AHCI	MBR/GPT
SATA I/II/III	USB	SAS	PCIe	HDD/SSD
NVMe	eSATA	M.2	UEFI	AFT
RAID (0,1,2,3,4,5,6,0,1,10) SATA RAID/NVMe RAID を含む	【パソコン完全抹消】 すべてのファイルシステムに対応		【ファイル抹消】 NTFS, FAT32	

「HD革命」は株式会社アーク情報システムの登録商標です。「HD革命/Eraser Ver.8」の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。Microsoft および Windows は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。その他記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。製品の仕様およびパッケージ内容は、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

取扱店

【開発元】 株式会社アーク情報システム <https://www.kakumeark-info.co.jp> 【販売元】 ファンクション株式会社 <https://www.function-fc.com>



フォーマットやごみ箱を空にするだけでは、データは完全に消えていません! 復元不可能な状態まで強力抹消!!

パソコン完全抹消

パソコン完全抹消では、パソコン丸ごとやディスク、ドライブ単位を選んで抹消することが可能です。

インストールして丸ごと抹消



インストールして**起動中のWindowsごと、パソコンを丸ごと抹消**※することが可能です。インストールできるから、BIOSやUEFIの起動設定も不要で、**初心者の方でも簡単に丸ごと抹消**することができます。
※ システムディスクのみ

操作は簡単ウィザード形式

「パソコン完全抹消」では、抹消したい場所を選んで、抹消方式を選んで、抹消開始の**最短3ステップで抹消を開始**することができます。

1 抹消したい場所を選択

2 抹消方式を選択

3 抹消開始をクリック

最短3ステップで抹消開始

抹消できるデバイス

- ◆ 内蔵 HDD/SSD
- ◆ リムーバブルメディア (USBメモリー、SDカードなど)
- ◆ 外付け HDD/SSD

よりセキュアな SSDの抹消



SSDはデバイスの特性により、通常の抹消を行っても領域(ブロック)には断片的なデータが残る可能性があります。ただしデータ復元ソフトウェアで復元が不可能な状態まで抹消は可能です。よりセキュアな抹消やSSDへの負荷をかけたくない場合は「SSDの抹消」をご利用ください。

SSDに備わっている抹消機能呼び出し、SSDのセキュアな抹消を実現しました。

	抹消方式		
NVMe	Format NVM	Sanitize(サニタイズ)	暗号化抹消
SATA	Secure Erase	トリム(Trim)	

※ NVMeのSSDに対してセキュア抹消(Format NVM/Sanitize(サニタイズ)/暗号化抹消)を行うには、内蔵(PCIeインターフェース)に接続し、「Windows PE 起動用ディスク」で起動して操作を行う必要があります。
※ SATAのSSDに対してセキュア抹消(Secure Erase)を行うには、パソコンからSSDを取り出し、SATA-USB変換を行うケースに装着してUSB接続する必要があります。
※ トリム(Trim)はデータの上書きを行うような完全抹消ではありません。

SSDの抹消について

- Windowsがインストールされ起動中のSSDに対してTrim(トリム)を行うことはできません。
- マザーボードの動作モードがRAIDモードに設定されている場合は、セキュア抹消を行うことができません。
- eMMCはセキュア抹消には対応していません。
- SSDのセキュア抹消は、SSDやコンピューター環境によっては対応していないものがあります。

選んで抹消



ディスク全体やドライブ単位を選んで抹消することが可能です。

ディスクごとに表示されるから直感的に選択することが可能

便利な機能

- ◆ 複数台の同時抹消
複数台の外付けHDDや、DドライブとUSBメモリーなど、複数のデバイスやドライブの抹消を**1回の操作で実行**することが可能です。
- ◆ 抹消後の自動シャットダウン
- ◆ 抹消後のフォーマット機能

抹消時間の測定



実際にファイルを作成し、そのファイルを抹消する時間を元に**抹消時間を測定**します。

抹消前に予測時間を測定

※ ディスクのサイズや使用状況により、実際の抹消時間と結果が異なる場合があります。

起動用ディスクの作成



作成した**起動用ディスクからパソコンを起動**して、抹消を行うことができます。Windows 8.1/7のパソコンで作成すれば、Windows 8.1/7のパソコンでも抹消を行うことができます。

Windows 8.1/7 動作確認済み

【パソコン完全抹消】注意事項

- 使用環境や選択した抹消方式によっては、抹消が完了するまでに大変時間がかかることがあります。
- 抹消を行うハードディスクにエラーがある場合、ドライブ単位の抹消ができない場合や、全ての領域が抹消できない場合があります。
- ダイナミックディスクは、ディスク全体の抹消のみならずドライブ単位の抹消はできません。
- ネットワークドライブの抹消はできません。
- HPA(Hidden Protected Area)のリカバリー領域の抹消はできません。

ファイル抹消

ファイル抹消では、ファイルやフォルダー単位で抹消することが可能です。

ファイル/フォルダー単位の抹消

● ARKシュレッダー(右クリック抹消)



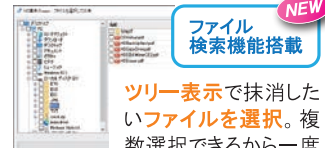
ファイルやフォルダーを右クリックしたメニューから**ファイルやフォルダーを素早く抹消**することができます。

● ARKシュレッダー(ドラッグ&ドロップ抹消)



ARKシュレッダーにファイルやフォルダーを**ドラッグ&ドロップ**するだけ!

● 選んで抹消



ツリー表示で抹消したいファイルを選択。複数選択できるから一度に抹消したいときにも便利です。

各種抹消

- ◆ Windowsの履歴
一時ファイル、「ファイル」を指定して実行」の履歴、「最近使ったファイル」の履歴
- ◆ インターネットブラウザの履歴
閲覧履歴、キャッシュ、Cookie
【対応ブラウザ】Edge/Google Chrome/Firefox
- ◆ ユーザーアカウント
- ◆ ページファイル

【ファイル抹消】注意事項

- 使用環境や選択した抹消方式によっては、抹消が完了するまでに大変時間がかかることがあります。
- ダイナミックディスク上のファイルを抹消することはできません。
- 512バイトエミュレーションを行っていない4Kセクター(4Kネイティブ)フォーマットのハードディスク上のファイルを抹消することはできません。
- FD、CD/DVD/BD、DVD-RAM、MO、PD、テープメディアやネットワークドライブ上のファイル、iPod、iPad、iPhoneなどのOSデバイス、Androidデバイス上のファイルなどは抹消できません。
- 他のアプリケーションによって使用中のファイル、システムより予約または保護されているファイル、アクセスが許可されていないファイル、NTFSの機能(代替データストリーム、リバースポイント、スパーズファイル)が施されたファイルなどは抹消することはできません。

ごみ箱の中のファイル抹消



スケジュールを設定して、定期的にごみ箱の中を抹消することも可能です。

スケジュール機能搭載

「選んで抹消」「履歴抹消」「空き領域抹消」「ごみ箱の中のファイル抹消」

共通機能

11段階の抹消方式

- 0(ゼロ)で抹消
- 固定値で抹消
- 乱数で抹消
- NCSC方式で抹消
- 米国陸軍方式で抹消
- 米国海軍方式(MFM)で抹消
- 米国海軍方式(RLL)で抹消
- 米国海軍方式(AAM)で抹消
- 米国国防総省方式で抹消
- NATO方式で抹消
- グートマン方式で抹消

固定値で抹消
任意の値(0x00~0xFFの範囲)で設定することができます。

最大10回
繰り返し抹消可能

空き領域の抹消



空き領域には、Windowsから見えていないだけで**データそのものや痕跡がいっぱい!**

空き領域を抹消することにより**痕跡を完全に抹消**することができます。また**スケジュールを設定**することも可能です。

スラック領域
抹消について

スラック領域抹消

クラスターサイズよりも小さいファイルや、ファイルサイズがクラスターサイズの倍数ではない場合、最後のクラスターには未使用の領域が発生します、この領域を「スラック領域」といいます。

サイズ	1.00 KB (1,024 バイト)
ディスク上のサイズ	4.00 KB (4,096 バイト)

この差がスラック領域

- 「スラック領域抹消」では、以下のファイルは抹消できません。
- 起動中の他のプログラムによって使用中のファイル
 - システムにより予約または保護されているファイル(\$で始まるファイル)
 - アクセス権が設定されアクセスが許可されていないファイル
 - NTFSの機能(代替データストリーム、リバースポイント、スパーズファイル)が施されたファイル
 - BitLocker(デバイスの暗号化)が有効なドライブ上に存在するファイル

抹消レポート



抹消レポートの表示や、テキストファイル(.txt)、PDFファイル(.pdf)で保存することができます。

パスワードによる操作制御

パスワード ●●●●●●●●

パスワードを設定することにより、各抹消機能の**起動を制限**することができます。

※スケジュールで抹消が行われる場合はパスワードは要求されません。